

1. 科目名 (単位数)	精神保健福祉援助演習Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	SCMP3168
2. 授業担当教員	谷口 恵子・森田 和美		SCMP3169 SCMP4170
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	春期/秋期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	<p>ソーシャルワーク演習Ⅰ、Ⅱ、精神保健福祉援助演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲは、2年次から4年次まで断続的に学習するよう構成されている。グループ討議、ロールプレイ、文献調査、社会調査、事例検討等の多様な方法を用いて、精神保健福祉援助の知識と技術に係る他の科目との関連性を視野に入れながら、実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養することを目的としている。</p> <p>精神保健福祉援助演習Ⅱでは、実技指導を通してソーシャルワーカーとして必要なケースワークの基本的技術を学習する。また、事例を用いて具体的な課題別の援助方法を理解し課題により異なる援助技術を学習する。</p> <p>精神保健福祉援助演習Ⅱが終了した時点で、下記の目標を達成することが期待される。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 地域福祉の基盤整備にかかる事例を活用し、実技指導を行う。 2) インテークからアセスメント、プランニング、介入、モニタリング、評価、終結とアフターケアのケースワークの一連の流れを理解し、それぞれの過程における必要な技術を実践することができる。 3) 他専門職の専門性を尊重したチームアプローチの意義を理解し、ネットワークングの技術を身につける 4) 社会資源について理解し、その活用、調整、開発の技術を学ぶ 5) ケアマネジメントについて理解し、実践することができる 6) 事例検討の意義を理解し、その方法を実践する 7) 次の課題について必要な援助技術を習得する：社会的排除/退院支援・地域移行、地域生活継続/ピアサポート/地域における精神保健/教育、就労/貧困、低所得、ホームレス/精神科リハビリテーション/危機状態にある精神保健福祉 		
8. 学習目標	<p>精神保健福祉の知識と技術に係る科目との関連も視野にいれつつ、精神障害者の生活や生活上の困難について把握し、精神保健福祉士に求められる相談援助に係る知識と技術について、次に掲げる方法を用いて実践的に習得するとともに、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を涵養する。</p> <p>そのために、下記のような授業形態により行われる。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①総合的かつ包括的な相談援助、医療と協働・連携する相談援助に係る具体的な相談援助事例を体系的に取り上げる。 ②個別指導並びに集団指導を通して、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とした演習形態により行う。 		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>第1回目において、以下の内容について、具体的な提出物等の指示を出す</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、地域福祉の基盤整備について 2、ソーシャルワークの課題（社会的排除、退院支援・地域移行、貧困など）について <p>その他、授業中に振り返りの課題を課す</p>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 精神保健福祉士養成セミナー編集委員会編集 『精神保健福祉士養成セミナー 7巻 第6版 精神保健福祉援助演習〔基礎〕〔専門〕』へるす出版、2017</p> <p>【参考書】 長崎和則・辻井誠人・金子勉著『事例でわかる！精神障害者支援実践ガイド』日総研出版、2006</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実践に基づくアセスメントとそれに基づく支援計画の立案を理解し、その方法を身につける。 2. 授業を受ける基本的マナー（出席状況、提出物等）を守り、授業に積極的に参加している。 <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業時に出される課題、発表、提出物 : 総合点の70% 2 授業への積極的参加態度 : 総合点の30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本授業は、精神保健福祉士として必要な知識、理論を実践的に身に付けていくものです。他の授業で学んだことを実践的、総合的に理解するためにも必要な授業となっています。精神保健福祉士を目指すためには、真剣に授業に取り組むことが期待されます。</p>		
13. オフィスアワー	<p>別途通知します。</p>		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	・オリエンテーション ・精神保健福祉援助演習Ⅰで学んだことの振り返りと演習Ⅱのねらいの解説	事前学習	精神保健福祉援助演習Ⅰで学んだ内容を振り返る。
		事後学習	演習において身に付けたいことを書きだす。
第2回	・ケースワークの実践（1）：ケースワークの援助過程を復習する ーインテークからアフターケアまでの流れとそれぞれの過程において大切な要素を振り返る	事前学習	テキスト〔実践編〕第1章序章を熟読する。
		事後学習	ロールプレイの考察をまとめる。

第3回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワークの実際（2） インテーク <ul style="list-style-type: none"> － インテークの技術を振り返り実践する 	事前学習	テキスト〔実践編〕第1章Ⅰ「インテーク・契約」を熟読する。あらかじめ配布された事例を読み、わからない用語を調べる。
		事後学習	ロールプレイの考察をまとめる。
第4回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワークの実際（3） アセスメント・プランニング アセスメントの様々な視点 治療モデル、環境モデル、生活モデル <ul style="list-style-type: none"> － 視点によるニーズ把握の違いを理解する 	事前学習	テキスト〔実践編〕第1章Ⅱ「アセスメント・プランニング」
		事後学習	視点によるニーズ把握の違いについてまとめる。
第5回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワークの実際（4） アセスメント・プランニング アセスメントの様々な視点 「ICF」「バイオ・サイコ・ソーシャルモデル」 <ul style="list-style-type: none"> － 「ICF」を活用してアセスメントを実践する 	事前学習	ICF について復習する
		事後学習	事例を通して学んだことをまとめる。
第6回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワークの実際（5） アセスメント・プランニング アセスメントの様々な視点 ストレngthモデル <ul style="list-style-type: none"> － 「問題解決アプローチ」との比較 － 「ストレngthモデル」によるアセスメントの実践 － その他ソーシャルワークのアプローチを理解する 	事前学習	ソーシャルワークのアプローチについて復習する
		事後学習	事例を通して学んだことをまとめる
第7回	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースワークの実際（6） 評価～終結、まとめ <ul style="list-style-type: none"> － 評価～終結の意義を理解し、終結の場面をロールプレイで実践する － アフターケアの意義を理解し、必要なアフターケアを計画する － ソーシャルワークの援助過程を振り返り、ワーカーとしての自己の課題を見出す 	事前学習	テキスト〔実践編〕第1章Ⅲ「支援の実施・振り返り」Ⅳ「終結・支援の振り返りとアフターケア」を熟読する。
		事後学習	事例を通して学んだことをまとめる。自己の課題について考察する
第8回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の基盤整備を実践する基礎力を習得する（1） <ul style="list-style-type: none"> － アウトリーチ、地域アセスメント、社会資源の活用と開発、チームアプローチとネットワークングについて理解する 	事前学習	テキスト〔実践編〕第3章「地域の基盤整備と地域生活支援活動の事例展開」A「アウトリーチ」C「チームアプローチとネットワークング」、D「協議会の活用・調整・開発」を熟読する
		事後学習	アウトリーチ、地域アセスメント、社会資源、チームアプローチ、ネットワークングとは何か自分の言葉でまとめる
第9回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の基盤整備を実践する基礎力を習得する（2） ケアマネジメント <ul style="list-style-type: none"> － ケアマネジメントの方法を学び、精神障害者に対するケアマネジメントの意義を理解する － 事例を用いてケアマネジメントを実践する 	事前学習	テキスト〔実践編〕第3章B「ケアマネジメント」を熟読する。
		事後学習	ケアマネジメントとは何か自分の言葉でまとめる。
第10回	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の基盤整備を実践する基礎力を習得する（3） 地域福祉計画とサービス評価 <ul style="list-style-type: none"> － 地域福祉計画づくりを理解する － 事例を活用して地域福祉計画づくりを実践する － サービス評価の意義と方法を理解する － 事例を用いてサービス評価を実践する 	事前学習	テキスト〔実践編〕第3章E「サービス評価」、F「地域福祉計画」を熟読する。
		事後学習	事例を通して学んだことをまとめる。事例の中で学んだ専門用語や制度についてまとめる。
第11回	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討の意義と方法 <ul style="list-style-type: none"> － 事例検討とは何か理解し、事例検討の方法を学ぶ ・事例検討（1）：社会的排除 <ul style="list-style-type: none"> － 精神障害者が抱える社会的排除の問題を理解する － 事例を用いて社会的排除における支援の方法を学ぶ 	事前学習	テキスト〔実践編〕序章（p.87）を熟読する。 テキスト〔実践編〕第2章（pp.109～110）を読み、わからない用語等意味を調べる。
		事後学習	社会的排除とは何か自己の考えをまとめる。 事例を通して学んだことを書き出す。
第12回	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討（2）：退院支援、地域移行、地域生活継続、ピアサポート <ul style="list-style-type: none"> － 上記に掲げたそれぞれの課題を理解する 	事前学習	テキスト〔実践編〕第2章の提示された事例を読み、分からない用語等調べる。
		事後学習	事例を通して学んだことをまとめる（それぞれの課題に対する理解も含めること）。
第13回	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討（3）：地域における精神保健（自殺、ひきこもり、児童虐待、薬物・アルコール依存） <ul style="list-style-type: none"> － 地域における精神保健の課題を理解する － 事例を用いてそれぞれの課題における支援の方法を学ぶ 	事前学習	テキスト〔実践編〕第2章の提示された事例を読み、分からない用語等調べる。
		事後学習	事例を通して学んだことをまとめる（それぞれの課題に対する理解も含めること）。
第14回	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討（4）：教育・就労、貧困・低所得・ホームレス、精神科リハビリテーション、危機状態にある精神保健福祉 <ul style="list-style-type: none"> － 上記に掲げたそれぞれの課題を理解する － 事例を用いてそれぞれの課題における支援の方法を学ぶ 	事前学習	テキスト〔実践編〕第2章の提示された事例を読み、分からない用語等調べる。
		事後学習	事例を通して学んだことをまとめる（それぞれの課題に対する理解も含めること）。
第15回	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ <ul style="list-style-type: none"> － 精神保健福祉援助演習Ⅱで学んだこと、演習を通しての自己の変化について振り返る 	事前学習	学習ノートを見返す。
		事後学習	授業で学んだことと自己の変化をまとめる。